

施策：	17	子育て支援の推進	財務コード	01030206-02-00
基本事業：	03	地域における子育て支援	担当部	健康福祉部
基本事業の成果指標	急用時等に子どもを預ける場所がある又は人がいる保護者の割合 他の親子と交流している乳幼児をもつ保護者の割合		担当課	二日市保育所
			担当係	二日市保育所



事務事業が貢献すべき成果

計画年度	～	新規・継続	継続	会計区分	実施計画
1. 対象（誰、何に対して事業を行うのか）		2. 手段（事務事業の内容、やり方、手順）			
・市民 市内在宅保育の就学前の乳幼児とその保護者 小中学生、高校生 地域の高齢者 ・入所児童		保育交流では、毎週水曜日（9：30～11：00）に就学前の乳幼児とその保護者を対象に保育所を開放し子育て支援を行っている。  職場体験では、中学生や高校生が乳幼児に関わるという体験を通して、コミュニケーションの大切さや職場観を体感できる機会とする。  高齢者交流では、世代間交流として施設訪問交流を年2回行う（特別養護老人ホームむさし苑・デイサービスセンター天拝）  育ジイ講座の受け入れを行う			
3. 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）					
・地域住民の育児に関する不安や悩みに対する相談、助言を行うことで不安解消につながり、地域での子育て力が高まる ・世代間交流を通し、高齢者の生きがいづくりにつながる ・中高生の体験学習が、低年齢の子どもたちとの交流の機会となり、将来の夢につながる					

4. 成果（簡易評価は未記入）								
成果指標名称	単位	02年度 実績	03年度 実績	04年度 当初	05年度 要求	06年度 計画	07年度 計画	目標
地域活動年間交流回数	回	0	2	55	55			55
保育交流年間参加総人数	人	0	0	400	400			200

5. コスト								
事業費	計	千円	91	21	74	33		
	国	千円	0		0	0		
	県	千円	0		0	0		
	地方債	千円	0		0	0		
	その他 一般	千円	0		0	0		
正職員人工数	人工	0.3						
正職員人件費	千円	2,409						
トータルコスト(事業費+正職員人件費)	千円	2,500	21	74	33			

6. 成果状況及びコメント（簡易評価は未記入）								
あがっている  どちらかといえばあがっている  あがっていない（停滞・低下）	・高齢者交流は、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、対面ではなく手づくりのプレゼントを贈り、交流した。気持ちを込めて作成したプレゼントを喜んでいただいたことで、自尊感情を育む機会となった ・保育交流は新型コロナウイルス感染症感染防止の為、保育所見学や一時保育利用者からの問い合わせも多数あり、ニーズが高い状況である							

7. 評価及びコメント（簡易評価は未記入）								
対象動向	維持	類似事業	なし	・子育ての悩みを相談する場所が少ない親子が保育交流に参加し、同年齢の子どもたちと一緒に過ごすことで、子育ての楽しさを知らせていくことができている ・高齢者交流や職場体験の実施により、世代間交流の一役を担っている ・保育交流の事業の内容の情報提供を行うことで向上する ・職場体験を通し、学生の将来の夢につなげることができる				
手段効率化余地	あり	コスト削減余地	なし					
公的関与	妥当性がある	受益者負担	余地なし					
上位貢献度	影響度は大	業務推進課題	なし					
成果向上余地	大きい							

8. 改善改革案（簡易評価は必要な場合のみ記入）				改善方向性	維持	見直し	廃止	事業終了
改革案/期待する成果/必要性/推進スケジュール/必要な費用（維持/事業終了の場合は記入する必要なし）								

事業開始背景及び現在の環境変化（市民・議会等の要望）		備考・特記事項 or 進行管理欄						
・保育所が地域社会に開かれた児童福祉施設として、地域の子育て支援センター的役割を担い、子どもの健全育成及び子育て家庭の支援を図る目的で地域事業を実施している ・子育て支援が筑紫野市全体の取り組みとなっている ・核家族化が進行する中、地域との連携が求められている		特になし						